

小児歯科学特論 ・ 実習

《キーワード》 幼児・小児、小児歯科学、成長・発育、齲蝕予防、齲蝕治療、外傷、歯列不正、小児の対応法

《担当者名》 広瀬 弥奈、倉重 圭史

【概要】

小児歯科学は、成長・発育（発達）過程にある小児を対象とした臨床歯科学の一分野である。このため、肉体的、精神的、情緒的に成長・発育途上にある小児を対象に、周期的に変化している成長発育期の歯科医学を担うことになる。全身の成長・発育過程を理解し、う蝕や外傷、小児歯科疾患の治療と予防についての基礎的事項を学習し、理解することを目標とする。さらに、小児歯科学の基本的事項（総論・各論）を学ぶ。

【学修目標】

1. 小児は成人を小さくした物ではないことを理解し、説明できる。
2. 小児の成長・発育（発達）について説明できる。
3. 小児の齲蝕予防と齲蝕治療について説明できる。
4. 小児の外傷とその対応法について説明できる。
5. 歯列・咬合の正常と異常について説明できる。
6. 小児患者の対応法について説明できる。

【学修内容】

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|---|--------------|-------------|----------------|
| 1 | 小児の発育・発達 | | 広瀬 弥奈 倉重 圭史 |
| 2 | 小児の精神的・情緒的発達 | | 広瀬 弥奈 倉重 圭史 |
| 3 | 小児の生理的特徴 | | 広瀬 弥奈 倉重 圭史 |
| 4 | 小児のう蝕 | | 広瀬 弥奈 倉重 圭史 |
| 5 | 小児のと歯周疾患 | | 広瀬 弥奈 倉重 圭史 |
| 6 | 歯列・咬合の発育と異常 | | 広瀬 弥奈 倉重 圭史 |
| 7 | 小児における歯の外傷 | | 広瀬 弥奈 倉重 圭史 |
| 8 | 小児の対応法 | | 広瀬 弥奈 倉重 圭史 |

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

出席状況及びレポート、合算で100%

【教科書】

授業・実習中に提示する。

【参考書】

授業・実習中に提示する。

【備考】

外来における実習を含む。

【学修の準備】

事前に提示した到達目標に合わせて、関連資料の収集・文献講読をしておくことが望ましい。